

調査要領抜粋（様式 3 - 3）

2. クリプトスポリジウム等対策実施状況調査（令和 5 年 3 月末時点）

1) 調査対象

上水道事業、簡易水道事業、水道用水供給事業及び専用水道（国が設置する専用水道を除く）。通常時に使用していない水源（予備水源等）を有する浄水施設も対象とする。

2) 調査方法（作業要領）

都道府県は上記の調査対象に「FILE03」及び「FILE03 別紙様式」を配付し、結果をとりまとめる。

○ 入力方法

今回送付する調査票「FILE03」は、前年度の調査で回答された情報（令和 4 年 3 月末時点）の一部がそのまま入力されていますので、記載されている施設ごとに以下の内容に留意して[6]～[18]の項目に令和 5 年 3 月末時点の内容（状況）を確認して入力してください。

令和 4 年度中にクリプトスポリジウム等対策で水源を変更した場合などは、変更後の内容を記入してください。

クリプトスポリジウム等による汚染のおそれを判断する指標菌の検査をこれまでに（令和 5 年 3 月末までに）実施していない場合は、「[10]汚染のおそれの判断」欄でレベル 1～4 を選択せずに「未実施」を選択してください。

クリプトスポリジウム等による汚染の対策を未実施の施設は「[16]対策の導入状況」に今後の予定を、汚染のおそれの判断を実施していない施設は「[16] 対策の導入状況」欄を「3 年以内に導入予定無し」にして、[18]備考欄に指標菌検査を行う予定時期を記入してください。

記入方法詳細

<p>[10] 汚染のお その判断</p>	<p>原水のクリプトスポリジウム等による汚染のおそれについて、「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針」(平成 19 年 3 月 30 日健水発第 0330005 号水道課長通知(令和元年 5 月 29 日一部改正))に基づき判断した結果を記入する。</p> <p>どちらか一つでも指標菌が検出されたことがある場合は、原水の種別によりレベル 4 かレベル 3 となる。</p> <p>これまでどちらの指標菌も検出されなかった場合は、原水の種別によりレベル 2 かレベル 1 となる。</p> <p>指針ではレベル 1 になるが、井戸内部を点検するのが困難なのでレベル 2 として検査を行っている場合は、レベル 1 を記入すること。</p> <p>どちらか一つの指標菌しか検査していない場合で検出したことがない</p>	<p>「未実施」： 指標菌検査未実施</p> <p>「レベル 1」</p> <p>「レベル 2」</p> <p>「レベル 3」</p> <p>「レベル 4」</p>
---------------------------	--	--

	場合及びどちらの指標菌も検査していない場合は、「未実施」を選択する。	
[11] レベルの変更の有無	令和4年度に新たに指標菌（大腸菌・嫌気性芽胞菌）の検査を行った、又は令和4年度の検査で指標菌（大腸菌・嫌気性芽胞菌）が検出されて、レベルが変わった場合は「有」、それ以外は「無」を選択する。 レベル変更「有」の場合はその理由を[18]備考に記入する。	「有」 「無」
[12] 原水の指標菌検査の実施状況	令和4年度の原水の指標菌検査状況（大腸菌・嫌気性芽胞菌）をそれぞれ選択する。 ※ 「定期」「不定期」の場合は、測定回数及び検出回数をそれぞれ記入する。水源が複数有り、測定回数（又は検出回数）が異なる場合は、最も多い回数を記入する。 ※ 「未実施」の場合は、測定回数及び検出回数の欄は空欄とする。	「定期」 「不定期」 「未実施」
[13] 原水のクリプトスポリジウム、ジアルジア検査実施状況	令和4年度の原水のクリプトスポリジウム・ジアルジアの検査状況を選択する。 ※ 「実施」の場合は、測定回数及び検出回数をそれぞれ記入する。水源が複数有り、測定回数（又は検出回数）が異なる場合は、最も多い回数を記入する。 ※ 「未実施」の場合は、測定回数及び検出回数の欄は空欄とする。 ※ レベル1、レベル2の施設において検査が不要のため実施していない場合は、「不要」を選択する。この場合は、測定回数及び検出回数の欄は空欄とする。	「実施」 「未実施」 「不要」
[14] 原水におけるクリプトスポリジウム、ジアルジアの過去の検出状況	検査の結果、 クリプトスポリジウム・ジアルジアを過去に検出した実績 がある場合は「有」を、検出されていない場合は「無」を、それぞれ選択する。 ※ これまでに一度も検査したことがない場合は、「未実施」を選択する。 ※ レベル1、レベル2の施設において検査が不要のため実施していない場合は、「不要」を選択する。 ※ 浄水受水のみの場合も、「不要」を選択する。	「有」 「無」 「未実施」 「不要」 ※この欄は入力必須
[15] 同時採取の有無	令和4年度にクリプトスポリジウム等を測定した場合、指標菌測定試料と同じ水で測定したことがあるか（「同一有」）、別々に採水したものの、同じ日に採水したことがあるか（「同日有」）を記入。これ以外の場合は、「無」とする。 ※ 「同一有」、「同日有」の場合、具体的な検出状況について、様式3-4に記入。	「同一有」 「同日有」 「無」
[16],[17]施設整備対策		
[16] 対策の導入状況	クリプトスポリジウム等対策が可能な施設の設置状況を選択する。 レベル1、レベル2で施設が設置されていない場合は「不要」を選択する。 汚染のおそれの判断を実施していない施設は「3年以内に導入予定無し」を選択する。	「導入済み」 「3年以内に導入予定有り」 「3年以内に導入予定無し」

		「不要」
[17] 対策の種別	<p>浄水施設にクリプトスポリジウム等対策が可能な急速ろ過・緩速ろ過・膜ろ過等のろ過設備、紫外線照射施設が設置されている場合、設置されている施設を選択する。原水として表流水を使用している場合であって、ろ過及び紫外線処理により対応している場合は「紫外線」を選択する。導入予定の場合も、導入を予定している施設を選択する。また水源の変更を予定している場合は水源の変更を選択する。<u>急速ろ過・緩速ろ過・膜ろ過以外のろ過等の設備による対策の場合は、「その他ろ過等設備」を選択し、具体的な設備を[18]備考に記入する。</u></p>	<p>「急速ろ過」 「緩速ろ過」 「膜ろ過」 「その他ろ過等設備」 「紫外線」 「水源の変更」 ※ 水源の変更は、当該水源の廃止も含む</p>
[18]備考	<p>汚染のおそれの判断が未実施の施設は、備考欄に指標菌検査を行う予定時期を記入する。また、[11]でレベル変更「有」を選択した場合は、<u>その理由を記入する。</u></p> <p><u>[17]で「その他ろ過等設備」を選択した場合は、具体的な対策設備を記入する。</u></p> <p>その他、休止や廃止予定などの特記事項がある場合は記入する。</p>	